

五条川小学校区統合保育園の運営方法に関する請願



2022年 8月23日

岩倉市議会議長 伊藤隆信 様

請願団体 岩倉市立保育園父母の会連絡会
代表者 [Redacted]
住所 岩倉市 [Redacted]

紹介議員 岩倉市議会議員

堀 巖

大野 慎治

木村 冬樹

柳谷 規子

【請願趣旨】

北部保育園・仙奈保育園・あゆみの家の統合園（令和7年度完成予定・五条川小学校区統合保育園）の運営方法について、保護者にアンケートを実施したところ、現状と同じく公立での運営を望むという意見が6割を超えました。一方、私立の運営が良いとする意見はわずか4.1%でした。

現状の公立での保育内容に満足している等の理由のため、運営方法が変わることを不安に感じる保護者が多数おります。また、私立での運営に変わることで、安定的な保育園経営、保育の質の維持が可能なか疑問視する声も上がっております。

統合保育園への移行は、子どもたちを取り巻く生活環境が大きく変化するため、子どもたちの心身の負担はかなり大きなものとなることが予想されます。そのうえ、運営が私立となり、引き継ぎのために一部の公立の保育士の先生方が残るとはいえ、保育士の顔ぶれが大きく変化し、さらに保育の内容も変化するとなれば、子どもたちに更なる負担を強いることとなります。子どもたちの負担軽減のためにも、統合保育園の運営方法は公立とし、各園の保育士が子どもたちと一緒に統合保育園へ移ることが望ましいと考えます。

また、支援児の保護者からは、私立の運営になると、加配保育制度がなくなり、加配保育を受けられる場所が少なくなるという心配もあり、公立の運営のままで加配保育制度を残してほしいという要望があります。公立保育園でも、加配保育の受け入れの関係で、年少ではなく、やむを得ず年中からの入園となっている支援児もいる現状があり、運営が私立となった場合、さらに加配保育を受けられる環境が縮小する可能性があることへの心配の声もあります。

以上のことから、次のことをお願いいたします。

【請願事項】

五条川小学校区統合保育園の公立運営を望みます